



2011年10月号

民主党プレス民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 TEL03-3595-9988(代表)
mail:press@dpj.or.jp http://www.dpj.or.jp
年間購読料:3000円(送料含む) 定価:1部 100円(消費税込み)
民主党埼玉第13総支部 石井しんいち事務所
〒345-0802 宮代町中島237-5 TEL/FAX 0480-32-3988
http://www.ishii-shinichi.com

石井しんいち
地域の安全を守ります

PRESS MINSHU

号外

宮代版

石井しんいち

宮代町議会議員



石井しんいち プロフィール

- ▶1968年 警視庁警察官拝命
 - ▶1994年 KDDI株式会社勤務
 - ▶1998年 行政書士登録
 - ▶2008年 宮代町議会議員選挙初当選
- 宮代町議会議員/教育福祉産業委員会委員長
/議会運営委員会委員/久喜地区消防組合議
会議員/民主党埼玉県第13区総支部幹事

活動報告 Activity Report

安心・安全な宮代を

私 石井しんいち、平成20年2月宮代町議会議員に初当選させていただき、はや3年8ヶ月が経過いたしました。

「地域の安全を守ります」とのスローガンを掲げ、安全で安心して暮らせる明るい街づくりをめざして日々活動をしています。今後も、「宮代町に住んで良かった、宮代町に住んでみたい」と言われるような、安心・安全な宮代町をめざして行きますので、ご指導を宜しくお願い致します。

公共下水道事業特別会計歳入歳出決算不認定

▶平成23年第3回宮代町議会9月定例会は9月1日から9月28日までの28日間にわたり開かれました。

今議会は、町から平成22年度一般会計決算および特別会計決算の認定8件、平成23年度一般会計補正予算など、7件、宮代町総合計画の議決に関する条例など6件、第4次宮代町総合計画について等4件、計25議案、議員議案2件、(意見書案)が提出されました。

審議採決の結果、町提出の24議案、議員議案2件(意見書案)については、原案どおり可決、認定、採択されました。

平成22年度宮代町公共下水道事業特別会計歳入歳出の決算の認定については、反対多数にて不認定としました。



平成23年9月議会

石井しんいち 一般質問要旨

Q 1 第4次宮代町総合計画基本構想案について

▶方針5、流入人口の受け皿となる市街地整備の中で、①道仏土地区画整理事業 ②東武動物公園駅西口整備 ③東武動物公園駅東口通り線の整備のそれぞれの進捗状況と今後の見通しは。④和戸駅西口の区画整理、調査検討は、どのように進めているのか。

A まちづくり建設課長

🔗 平成25年度の工事完了を目指す

- ① 平成22年度末で約50%の進捗、本年9月に第2次集合保留地を売却、10月に調整池が完成し、今年と来年で地盤改良の盛土をすべて撤去する予定。

道路整備も順調に進んでいる。平成25年度の工事完了を目指している。 裏面へ続く



道々々と工事が進む道仏地区土地区画整理地内

🗨️ 今年度は事業認可を得て、調査、設計を進めていく

② 本年3月に駅前広場を含む都市計画道路や土地区画整理事業の区域の都市計画決定をした。

今年度は事業の認可を得て、調査、設計等を順次進めていく予定。先の震災等の影響により、事業スケジュールが半年から1年程度遅れている状況。現在、事業認可申請に向けて、県、UR都市機構及び東武鉄道と協議・調整を進めている。現時点では、土地区画整理事業については、平成27年度の完了を目指して必要な手続きを順次進めていきたい。



東武動物駅西口杉戸工場跡地 (年末頃から建屋の解体撤去作業予定)

※(平成23年11月8日午後7時 進修館大ホールにて、西口整備に関する説明会が実施されます。)

🗨️ 駅前広場の都市計画決定に向けた手続きを進めている

③ 平成20年9月に地域住民による「まち、道づくり協議会」が発足。駅前広場の位置・形状や事業手法等の絞込みが進められている。本年度は、道路整備と車の車輛の関係にあ

る「商店街の活性化」について、杉戸地区、・宮代地区の住民が一体となって、道路の拡幅整備に合わせた駅周辺の活性化の検討を進めてい



東武動物公園駅東口駅前広場早期都市計画決定を

る。そのため、宮代町として、今年度は駅前広場の都市計画決定に向けた手続きを進めている。

また、駅前広場の整備は町の事業となるが、古川橋の架け替えや県道の拡幅については、埼玉県が主体となって事業を推進していくことになるので、来年度の県予算の確保に向けて、杉戸町と一緒に県に要望活動をしていきたいと考えている。

🗨️ 平成24年度住民意向調査を実施

④ 活動休止から6年が経過しており、社会情勢の変化に伴い地元のまちづくりに対する考え方にも変化が表れていると思う。平成24年度は、予定区域の皆様がどのような課題



開発が待たれる和戸駅西口

を抱えているのか、又、どのように改善したいのか等の意向調査をまず実施する必要があると考えている。その上で、地元と町が一体となり整備構想案を作成し、次のステップに進めていきたいと考えている。

Q 2 東小学校南側五差路の交通安全対策について

- ▶① 五差路の隅切りを確保するための用地買収の交渉は。
- ② 東小学校方向から見て清地橋方向からの車両を見るカーブミラーの設置は。
- ③ 信号機設置の要望は。

A 町民生活課長

- ① 五差路の隅切りの確保については、五差路は県道で杉戸県土整備事務所が主体となって行なっている。以前にも答弁したとおり、権利者の意向もあり交渉が難航している状況。町としては出来る限り県に協力して交通安全対策に努めていきたいと考えている。
- ② 区長などと調整をさせていただきながらカーブミラーの設置に向けて努力している。(9月7日設置)



東小学校南側五差路の交通安全対策は

- ③ 五差路が複雑な形状をしているなどの理由により、町としては設置が困難であると同っているが、毎年信号機設置の要望を行っている。※今年、5月に設置要望を行った。
- *五差路は特に通行する歩行者にとっては大変危険な場所です。事故が起きてからでは遅いと思います。早急の改善対策について今後も町に要望して行きます。

Q 3 子ども医療費の窓口払いの廃止の考えは

A 福祉課長

🗨️ 廃止の実現に向けて努力していきたい

窓口払いの廃止は埼玉県全体の問題であると考えており、埼玉県に対して医師会をはじめ関係機関に調整していただくよう引き続き要望していきたい。対象者の利便性とサービス向上を図るため窓口払いの廃止の実現に向けて努力していきたい。

※その他、中島地区の廃屋対策等について質問いたしました。
※平成23年10月18日開催された臨時議会にて宮代町公共下水

道事業不納欠損の調査に関する決議(案)を賛成多数で可決し、委員11人からなる宮代町公共下水道事業不納欠損調査特別委員会(百条委員会)が設置となりました。

(百条委員会) → 地方自治法第100条1項に普通地方公共団体の議会は、地方公共団体の事務に関する調査を行い、選挙人、その他の関係人の出頭及び証言並びに記録の提出を請求することができる。と規定されている。